

全国で唯一 2つの文化財登録の「銭湯」があるまち

# 吉原の「日の出湯」が国登録文化財に

昨年7月17日、国の文化審議会で市内の文化財1件(棟)が国登録文化財として文部科学大臣に答申されました。

市内では、これまで北吸トンネルなどが国の文化財に登録されています。今回、日の出湯が登録されると市内の国登録文化財は計20件となります。

《文化振興課》



浴槽が中央にある関西の銭湯の特徴的な配置



## 日の出湯

【営業時間】16時30分～20時30分 (土曜定休)

【場所】東吉原297

【料金】450円(小学生150円、乳幼児60円)

【その他】駐車場はありません

【問い合わせ先】日の出湯 ☎75・0366



番台には黒電話が現役で鎮座。木箱も丁寧な細工が映える年代物だ



アナログの体重計や鏡広告、壁掛けの扇風機など懐かしい品が並ぶ



日の出湯は、吉原に残る大正9(1920)年開業の銭湯です。町家風の造りで2階には床の間付きの座敷があり、国の文化審議会から「戦前の町家風銭湯建築の有様を示す」と評価されました。吉原は享保12(1727)年、田辺城下の町民が、藩の命令で伊佐津川の河口に移住させられ形成されました。入江に面して舟屋があり、細い路地に規則正しく家屋が並び街並みは、江戸時代から続く歴史的景観で、この街並と一体となって日の出湯が残っている点も貴重です。



約300年前、田辺城下を襲った大火の後、今の場所に移転した吉原。軒の連なる家並みや漁民が掘った入江と両岸に舟屋の並ぶ風景など、市内でも独特の文化と景観を持つ。

町営だった銭湯を祖父が経営するようになって昨年10月で100年を迎えました。私が、退職後経営を引き継いで12年。今では吉原の人はもちろん、自宅がシャワーだけだという市内の人や全国各地の銭湯ファンなど、さまざまな人に利用してもらっています。

地元の身近な魅力を掘り起こしてくれた地域の人や行政の協力があつたから、文化財登録に向けてやってこられました。最盛期には市内に28もの銭湯がありました。今ではたった2つになりました。ですが、その残った2つともが国登録文化財になった。このうれしさを、創業者や先代に伝えられたらという気持ちです。

吉原は約300年前に今の場所に集落ごと移り、以後独自の文化や景観が生まれた魅力ある地域で、大学のゼミが吉原の歴史を研究に訪れることもあります。舟屋の並ぶ入江は吉原の漁民自らが掘って作り上げた他にはない景色です。ぜひ、この魅力あふれる吉原を歩いて、その街並みの一つとして、日の出湯に立ち寄り疲れた癒してもらえたらと思います。



日の出湯 経営者 高橋一郎さん

まいづる 広報まいづる 1月号

発行・舞鶴市 (〒625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044、☎62・2300)  
※…舞鶴市内の電話番号では市外局番(0773)を省略しています。  
編集・広報広聴課 (☎66・1041、FAX 62・7951) 基本デザイン、一部編集、印刷・有限会社多田印刷所



舞鶴市公式LINEアカウント  
防災情報、市政・イベント情報など  
登録は、こちらのコードから

